

《福岡県》

あがのやき
【上野焼】



【陶磁器の魅力はこんなところ！】

1602年、豊前小倉藩主・細川忠興が李朝陶工の尊楷を招き、福智山の麓・上野の地に開窯したのが始まりとされます。細川家、小笠原家にわたる藩主の御用窯として珍重された国焼茶陶で、江戸時代には遠州七窯の一つに選ばれるほど茶人に好まれていました。「緑青流し」に代表される釉薬ゆうやくの豊かな色づかいと「薄づくり」による軽さが独特の深みを生んでいます。現在も、約400年の歴史に裏打ちされた品の良さ、格調高さを感じさせる器が生み出されています。

☆イベントスケジュール☆

イベント名	日時	場所	お問い合わせ先
上野焼春の陶器まつり	令和2年4月24日~26日	上野焼陶芸館（福智町上野2811番地）及び上野焼窯元	上野焼協同組合 0947-28-5864
上野焼秋の窯開き	未定（令和2年10月に3日間開催）	上野焼陶芸館（福智町上野2811番地）及び上野焼窯元	上野焼協同組合 0947-28-5864
バレンタイン猪口展	アクロス：未定（令和3年2月） 陶芸館：令和3年2月1日~14日	アクロス福岡（福岡市天神1-1-1）及び上野焼陶芸館	上野焼協同組合 0947-28-5864

《福岡県》

こいしわらやき
【小石原焼】



【陶磁器の魅力はこんなところ！】

実用的で質実剛健な「用の美」の代表として、民芸運動の始祖、柳宗悦が高く評価したことで全国に知られるようになりました。小石原焼の大きな特徴は、器をろくろで回しながら刃先や刷毛などを使い規則的に入れる模様です。「飛び匏（とびかんな）」や「刷毛目（はけめ）」と呼ばれる技法により、整然としながらも温かみのある柄が生まれます。素朴なデザインと風合いで、日本全国で愛され続けています。

☆イベントスケジュール☆

イベント名	日時	場所	お問い合わせ先
春の民陶むら祭	令和2年5月 3日～5日	小石原焼伝統産業会館 (東峰村小石原 730-9)	民陶むら祭運営委員会 (0946-74-2121)
秋の民陶むら祭	未定 ※令和2年 10月の体育 の日を最終日 とする3日間	小石原焼伝統産業会館 (東峰村小石原 730-9)	民陶むら祭運営委員会 (0946-74-2121)